

2021年12月期 第1四半期 決算補足説明資料

井関農機株式会社

2021年5月13日

1. 2021年12月期第1四半期 業績の概要
2. 2021年12月期 業績予想

1. 2021年12月期第1四半期 業績の概要

第1四半期決算のポイント

<第1四半期業績>

中期経営計画初年度として好スタート

- ・不需要期である第1四半期は例年営業利益以下赤字
- ・当期は前年同期比増収増益の黒字決算

(業績内訳)

- 国内 : ✓ 消費増税反動減からの回復
✓ 経営継続補助金による需要の下支え
- 海外 : ✓ 北米、欧州の販売増加
✓ 前期に実施したフランス連結子会社の決算期統一影響※
- 収益 : ✓ 増収による売上総利益の増加

※フランス連結子会社決算期統一影響
・9月決算から12月決算に決算期統一
・前期1Qは10～12月(不需要期)を連結、
当期1Qは1～3月(需要期)を連結

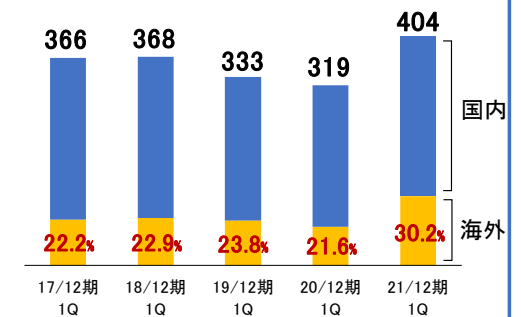
<通期業績予想>

当初連結業績予想から変更なし

- ・新型コロナウイルス感染症の収束状況や 国内・海外の需要動向不透明

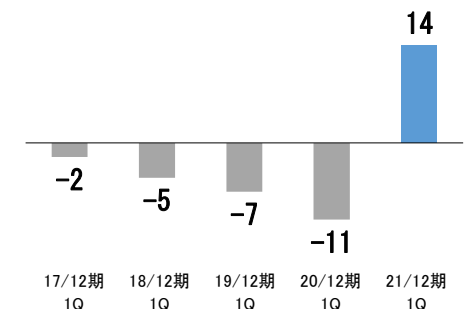
売上高推移(第1四半期)

(単位:億円)



営業利益推移(第1四半期)

(単位:億円)



事業環境



		前年同期 (20/12期 第1四半期)	当期 (21/12期 第1四半期)
国内		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 消費増税反動減 ✓ 新型コロナウイルスによる展示会中止をはじめとする営業活動自粛 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 消費増税反動減からの回復 ✓ 展示会の中止や規模縮小などの影響を受けたが、前年同期比では緩和 ✓ 経営継続補助金による需要の下支え
海外	北米	<ul style="list-style-type: none"> ✓ コンパクトトラクタ市場：前年同期比▲9% ✓ 移動制限等によりOEM先の営業活動に制約 ✓ 部品入荷遅れによるトラクタの減少(当社特殊要因) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ コンパクトトラクタ市場：前年同期比+66% ✓ 海上輸送用コンテナ不足による未出荷などの受注残発生
	欧州	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ロックダウンにより現地海外代理店店舗が一時閉鎖されたこともあり、当社も出荷調整 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ エッセンシャル・リテールとして小売店の販売意欲は旺盛結果、代理店から小売店への販売は順調 ✓ コロナ影響により地方自治体向け入札ビジネスは先行き不透明 ✓ 海上輸送用コンテナ不足による未出荷などの受注残発生
	アジア	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中国 <ul style="list-style-type: none"> ・食糧確保に向けた政策や、移動制限による人手不足で省内での農機需要が喚起 ✓ アセアン(タイ) <ul style="list-style-type: none"> ・干ばつ影響により購買マインド低調 ✓ 韓国、台湾 <ul style="list-style-type: none"> ・行動制限による影響はあるも、大型農機需要継続 台湾では大型農機購入補助金施行 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中国 <ul style="list-style-type: none"> ・中央、地方政府による食料確保政策継続 中央政府による補助金も増加 ✓ アセアン(タイ) <ul style="list-style-type: none"> ・購買マインド低調に底打ち感はあるが農機市場は依然軟調 ✓ 韓国、台湾 <ul style="list-style-type: none"> ・韓国は大型農機需要継続、台湾は補助金反動減

連結業績の概要

(2021年1月1日～2021年3月31日)

(単位: 億円、%)

	19/12期		20/12期		21/12期		前年同期比
	1Q実績	比率	1Q実績	比率	1Q実績	比率	
売上高	333	100.0	319	100.0	404	100.0	+ 85
(国内)	253	76.2	250	78.4	282	69.8	+ 32
(海外)	79	23.8	68	21.6	122	30.2	+ 53
営業利益	△7	△2.2	△11	△3.5	14	3.7	+ 25
経常利益	△11	△3.3	△12	△4.0	21	5.3	+ 34
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△4	△1.4	△4	△1.5	19	4.8	+ 23
為替平均 レート (円)	米ドル	110.5	109.6	104.4	△5.2		
	ユーロ	126.3	120.8	126.8	+6.0		

国内売上高

ISEKI

前年同期比
+32億円

農機製品、作業機は消費増税反動減からの回復や経営継続補助金による需要の下支えもあり増収
施設工事は前年同期に大型物件の完工があった反動で減収となったが、国内売上全体では増収

(単位:億円)		19/12期 1Q実績	20/12期 1Q実績	21/12期 1Q実績	前年同期比	
						備考
農機 製品 関連	整地機	67	57	66	+ 8	トラクタ: +6
	栽培機	22	17	25	+ 8	田植機: +5
	収穫調製機	27	20	24	+ 3	コンバイン: +3
	小計	117	95	116	+ 20	
	作業機	48	41	59	+ 18	
	部品	27	29	30	+ 1	
	修理収入	10	11	11	+ 0	
	小計	86	82	102	+ 19	
	計	204	178	218	+ 40	
	施設工事	5	26	14	△ 12	
その他農業関連	44	46	50	+ 4		
合計	253	250	282	+ 32		

主な増減要因(前年同期比)

- ✓ 農機製品、作業機は消費増税反動減からの回復や経営継続補助金による需要の下支えもあり増収
- ✓ 新型コロナウイルス影響により展示会中止や規模縮小などの影響を受けたが前年同期比では緩和
- ✓ 部品売上、修理収入は引続き堅調に推移
- ✓ 施設工事は前年同期に大型物件の完工があった反動で減収
- ✓ 国内売上全体は、前々年対比でも大幅増収

海外売上高



前年同期比
+53億円

北米、欧州は販売増加に加え前期実施したフランス連結子会社の決算期統一影響※もあり増収
アジアは韓国及び台湾で減収も、タイの販売代理店を連結子会社化したことなどにより増収

(単位:億円)	19/12期	20/12期	21/12期	前年同期比	
	1Q実績	1Q実績	1Q実績		備考
北米	28	23	39	+ 15	トラクタ: +15
欧州	29	24	59	+ 34	トラクタ: +5 芝刈機: +21
アジア	20	20	22	+ 2	トラクタ: +2
その他	0	0	0	+ 0	
連結売上高合計	79	68	122	+ 53	

主な増減要因(前年同期比)

- ✓ **北米** : 好調なコンパクトトラクタ市場を背景に増収
海上輸送用コンテナ不足による未出荷などの受注残発生
- ✓ **欧州** : 前期実施したフランス連結子会社の決算期統一影響※に加え、巣ごもり需要を受けたコンシューマー向け販売に支えられ増収
- ✓ **アジア** : 韓国及び台湾では減収も、前期末タイの販売代理店を連結子会社化したことなどにより増収

※フランス連結子会社決算期統一影響
・9月決算から12月決算に決算期統一
・前期1Qは10~12月(不需要期)を連結、当期1Qは1~3月(需要期)を連結

営業利益

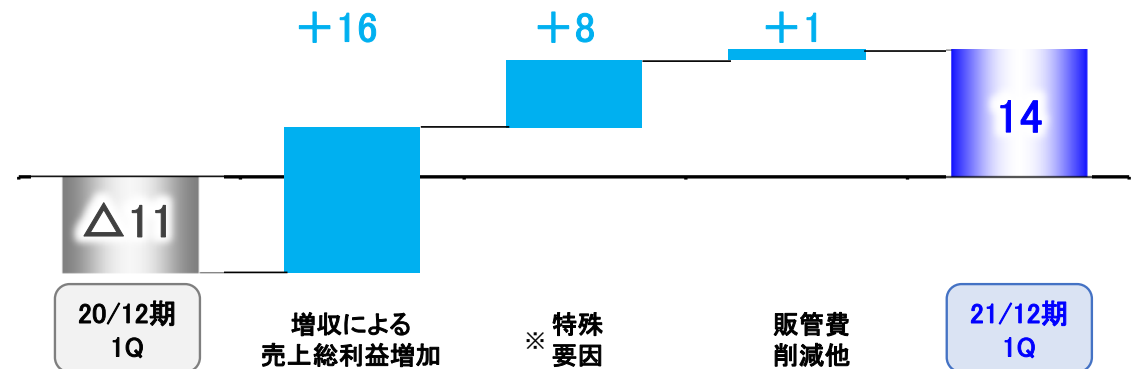
前年同期比
+25億円

増収による売上総利益の増加に加え、前期に計上があった部品在庫評価損の剥落などの特殊要因もあり増益

(単位: 億円、%)

	19/12期 1Q実績	20/12期 1Q実績	21/12期 1Q実績	前年同期比
売上高	333	319	404	+ 85
売上総利益	96	90	117	+ 27
売上総利益率	28.9%	28.2%	29.1%	+ 0.9%
販管費	103	101	103	+ 1
人件費	61	60	60	+ 0
その他経費	42	40	42	+ 1
営業利益	△7	△11	14	+ 25

【営業利益増減内訳(前年同期比)】



※特殊要因

- ・フランス連結子会社の決算期統一及び増収 +4
- ・前期に計上があった部品在庫評価損の剥落 +3
- ・前期減損損失計上に伴う減価償却費の減少 +1

【為替影響(億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
1.8	△0.4	△1.3	0.1

経常利益、四半期純利益

経常利益
前年同期比
+34億円

為替差損益の好転に加え、一過性の営業外収益計上等により増益

(単位:億円)

	19/12期 1Q実績	20/12期 1Q実績	21/12期 1Q実績	前年同期比
営業利益	△7	△11	14	+ 25
金融収支	△1	△1	△1	△ 0
その他営業外損益	△1	0	8	+ 8
経常利益	△11	△12	21	+ 34
特別利益	0	1	0	△ 1
特別損失	0	0	0	△ 0
税 前 利 益	△11	△11	20	+ 32
税、税調整額	7	7	△1	△ 8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△4	△4	19	+ 23

営業外損益増減内訳(前年同期比)

為替差損益	+3億円
受取和解金	+4億円

・ご参考)持分法関連

(単位:億円)

	20/12期 1Q実績	21/12期 1Q実績	増 減
持分法投資損益 (営業外)	△0.7	0.1	+0.8
持分変動損益 (特別)	+1.2	-	△1.2

2. 2021年12月期 業績予想

2021年12月期 連結業績予想

ISEKI

連結業績予想

当初連結業績予想から変更なし

⇒新型コロナウイルス感染症の収束状況や国内・海外の需要動向不透明

(単位:億円)	19/12期		20/12期		※ 21/12期		前期比
	実績	比率	実績	比率	予想	比率	
売上高	1,498	100.0	1,493	100.0	1,535	100.0	+ 41
(国内)	1,177	78.5	1,159	77.6	1,179	76.8	+ 19
(海外)	321	21.5	333	22.4	356	23.2	+ 22
営業利益	27	1.8	20	1.4	36	2.3	+ 15
経常利益	11	0.7	17	1.1	35	2.3	+ 17
親会社株主に帰属する 当期純利益	7	0.5	△56	-	24	1.6	+ 80
為替平均レート (円)	米ドル	109.3	107.0		105.0		△2.0
	ユーロ	121.6	121.5		123.0		+1.5

※21/12期予想:2021年2月15日公表予想

将来の見通しに関する記述についての注意

ISEKI

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的风险や不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。

本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



未来の
ために、
いま選ぼう。

井関グループは、
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。